

事業番号	0	8	3
実施計画事業	○		
実施計画事業以外の事業			

令和元年度 事務事業評価シート

1. 事業の概要

事務事業名	文化事業開催委託事業				担当部	教育委員会事務局					
事業期間	平成29年度 ~ 令和2年度以降				担当課	生涯学習課					
新基本計画 (平成26年~平成30年)	基本施策	15	展開方向	1							
予算区分	一般会計	款	10 教育費	項	05	目	05	大	03	中	01

2. 実施状況

【平成30年度の実施状況】

○市民美術展

・市民美術展を開催するとともに、多くの人に美術に関心を持ってもらうため参加型のイベント(ギャラリートーク、アートイベント等)を実施した。

・平成30年度実績

第59回市民美術展 出品点数316点 入場者数3,034人

○オーケストラ演奏鑑賞事業、音楽指導事業

・小中学校でオーケストラ演奏会を実施し、幼稚園保育園ではアンサンブル演奏会を開催した。

また、市内小中学校・高等学校の吹奏楽・金管バンドの技術指導や専門的な助言を行うため中部フィルハーモニー交響楽団から楽団員を派遣した。

・平成30年度実績

演奏鑑賞事業:小学校6校、中学校3校、幼稚園10園、保育園20園、こども園1園、参加者数8,597人

音楽指導事業:中部フィルハーモニー交響楽団員延べ197人を市内小中学校、高等学校に派遣

○こども夢・チャレンジ文化事業、ジュニア育成文化活動事業

・子ども遊びウィーク、小牧舞台芸術祭、小牧陣中将棋大会等を開催し、子どもたちが体験をととしてチャレンジする文化活動を支援した。

・小牧戦国少女隊の活動支援(最終年度)

・ジュニア育成文化活動、ジュニア美術クラブ、ジュニア演劇クラブの運営

・平成30年度実績

市民舞台芸術祭:入場者数1,019人

3. 総合診断

事業費	項目	単位等	H27	H28	H29	H30	R1	
直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	-	-	36,872	33,352
			国・県支出金	千円	-	-	-	-
			その他	千円	-	-	-	-
		計(A)	千円	-	-	36,872	33,352	
	対前年比	%	-	-	-	90.5%		
		(当初)予算額	千円	-	-	42,103	36,778	37,805
人件費	正職員	人	-	-	0.3	0.3		
	正職員(平均人件費)	千円	-	-	2,246	2,246		
	その他職員	人	-	-	0	0		
	その他職員(時給×年間時間)	千円	-	-	0	0		
	計(B)	千円	-	-	2,246	2,246		
事業費合計(C=A+B)		千円	-	-	39,118	35,598		
指標	成果指標	市民美術展入場者数(人)	目標	-	-	5,500	5,500	5,500
			実績	-	-	4,508	3,034	
	演奏会を聴いて音楽等に興味を持った割合(%)	目標	-	-	-	-	-	
		実績	-	-	-	-	-	
	活動指標	市民美術展出品作品数(点)	目標	-	-	370	370	370
			実績	-	-	344	312	
	小中学校・幼稚園保育園の演奏会(回)	目標	-	-	42	42	42	
		実績	-	-	42	42		
@事業費	受益者数(a) (委託事業の事業参加者数)	人	-	-	20,043	19,210		
	受益者あたり事業費 (b=C/a)	円	-	-	1,952	1,854		

診断結果	改善点は見られない	○	改善点が若干見られる	大いに改善すべき	
	<p>○平成29年度からこまき市民文化財団に委託して事業を行った。それぞれの事業において、文化団体等と連携を図り、工夫を凝らして事業を実施していたものの、すぐに目標数値の改善にはつながっていない。短期的に効果の現れる事業ではないが、引き続き、市と文化財団が連携して、常に改善を図りながら事業を進めていく必要がある。</p> <p>○中学校オーケストラ鑑賞事業において、これまで各中学校の体育館等で実施していたが、本物のオーケストラサウンドを聴く場所としては限界を感じていた。平成30年度より、市民会館に中学生を招き、本物と同じシチュエーションでオーケストラを体感してもらい、音楽等に興味を持ってもらうことを目的として、事業の見直しを行った。</p>				

4. 総合評価

事業の方向性 削減額・対象	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの				
	事務事業評価による額	千円	予算区分	節	節	
評価結果	<p>○本来、市が実施すべき事業について、市民や文化団体等と関わりの深い文化財団のほうが、より効果的に実施できるとして委託している事業である。効果は、短期的に現れるものではないため、事業規模を維持し、継続的に実施する必要があると判断した。</p>					